

2013年6月30日(日) 於:お茶の水女子大学
CRN主催 第1回ECEC研究会
「日本の保育の課題と展望」

調査データから見る 日本の保育

第2回 幼児教育・保育についての基本調査 より

ベネッセ教育総合研究所 次世代育成研究室
後藤憲子



調査概要

■調査テーマ

園の教育・保育活動、子育て支援活動、園の体制等に関する実態と園長の意識

■調査対象

園児数30人以上の国公立幼稚園、
公私立認可保育所、認定こども園の園長等

■調査方法

郵送法
(自記式アンケートを郵送により配布・回収)

■回収数と回収率

		国公立 幼稚園	私立 幼稚園	公営 保育所	私営 保育所	認定 こども園	合計 サンプル数
第1回 調査	発送数	1,420	5,680	6,000	6,000	—	4,622
	回収数	401	1,203	1,584	1,434	—	
	回収率	28.2%	21.2%	26.4%	23.9%	—	
第2回 調査	発送数	2,700	5,000	9,700	10,900	800	5,221
	回収数	456	921	1,362	2,343	139	
	回収率	16.9%	18.4%	14.0%	21.5%	17.4%	

■調査時期

第1回調査2007年6月(幼稚園編)
第1回調査2008年 9~10月(保育所編)
第2回調査2012年10~12月
(幼稚園、保育所、認定こども園)

*** 第1回調査は、2007年・2008年に実施**

■調査地域 日本国内全域

* 調査票は、幼稚園版・保育所版・認定こども園版の3種類を作成。共通項目と、各施設ごとの項目から設計



教育・保育目標として特に重視していること

Q.貴園が教育・保育の目標として特に重視していることを3つまで選んでください

1. のびのびと遊ぶこと
2. 健康な体を作ること
3. 基本的な生活習慣を身につけること
4. 自分のことは自分ですること
5. 自然と触れ合うこと
6. 遊びの中でいろいろなものに興味を持つこと
7. 友だちを大切にし、仲良く協力すること
8. 思ったことをはっきり話し、人の話をよく聞くこと
9. 礼儀作法を身につけること
10. 人への思いやりをもつこと
11. 粘り強く挑戦すること
12. 文字や数を学習すること
13. 国際感覚を養い、外国語に親しむこと
14. 豊かな情操や感性をはぐくむこと
15. 五感を使って表現すること
16. 個性を伸ばすこと
17. その他
(具体的に:)



教育・保育目標として特に重視していること

Q.貴園が教育・保育の目標として特に重視していることを3つまで選んでください

16項目より、3つ選択したものの上位5位(数値は%)

	1位	2位	3位	4位	5位
幼稚園 (1, 377)	基本的な生活習慣を身につけること	健康な体を作ること	友だちを大切にし、仲良く協力すること	豊かな情操や感性をはぐくむこと	人への思いやりを持つこと
	39.3	34.2	32.0	31.4	29.8
保育所 (3, 705)	基本的な生活習慣を身につけること	健康な体を作ること	人への思いやりを持つこと	友だちを大切にし、仲良く協力すること	豊かな情操や感性をはぐくむこと
	44.0	43.9	35.8	28.3	27.7

幼稚園、保育所ともに「健康な体を作ること」「基本的な生活習慣を身につけること」が上位にあげられている。



教育・保育目標として特に重視していること

Q.貴園が教育・保育の目標として特に重視していることを3つまで選んでください

16項目より、3つ選択したものの上位5位(数値は%)

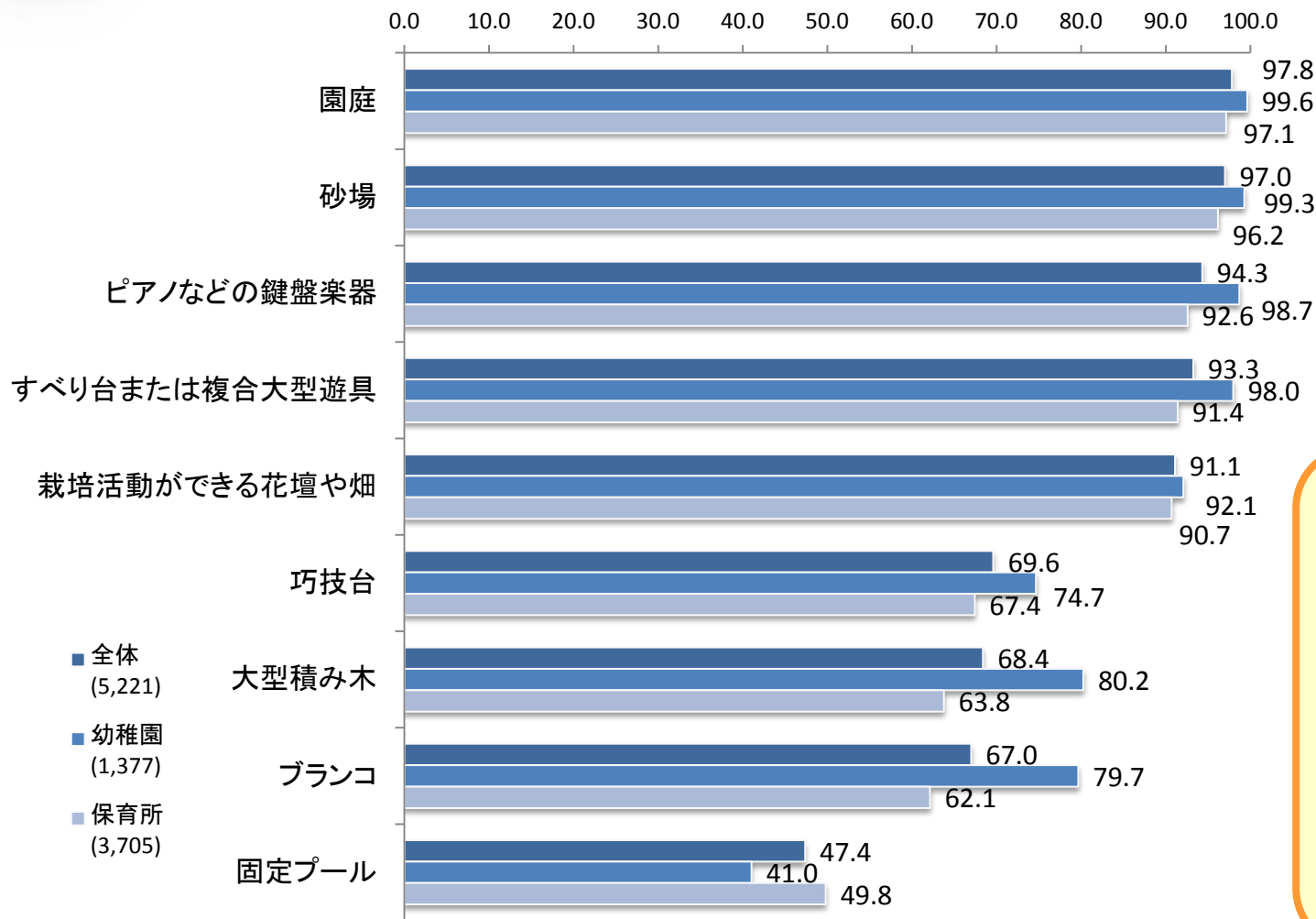
	1位	2位	3位	4位	5位
国公立幼稚園	健康な体を作ること 39.0	友だちを大切にし、仲良く協力すること 37.5	基本的な生活習慣を身につけること 35.5	遊びの中でいろいろなものに興味を持つこと 30.3	のびのびと遊ぶこと 30.0
私立幼稚園	基本的な生活習慣を身につけること 41.2	豊かな情操や感性をはぐくむこと 32.8	健康な体を作ること 31.8	人への思いやりを持つこと 30.7	友だちを大切にし、仲良く協力すること 29.3
公営保育所	健康な体を作ること 47.2	基本的な生活習慣を身につけること 43.6	人への思いやりを持つこと 35.1	友だちを大切にし、仲良く協力すること 32.0	のびのびと遊ぶこと 29.4
私営保育所	基本的な生活習慣を身につけること 44.3	健康な体を作ること 42.0	人への思いやりを持つこと 36.3	豊かな情操や感性をはぐくむこと 29.8	のびのびと遊ぶこと 25.4
認定こども園	基本的な生活習慣を身につけること 38.8	健康な体を作ること 36.7	豊かな情操や感性をはぐくむこと 33.8	遊びの中でいろいろなものに興味を持つこと 32.4	人への思いやりを持つこと 26.6

私立幼稚園では「豊かな情操や感性をはぐくむこと」が第2位にあがっている。



園の環境や設備

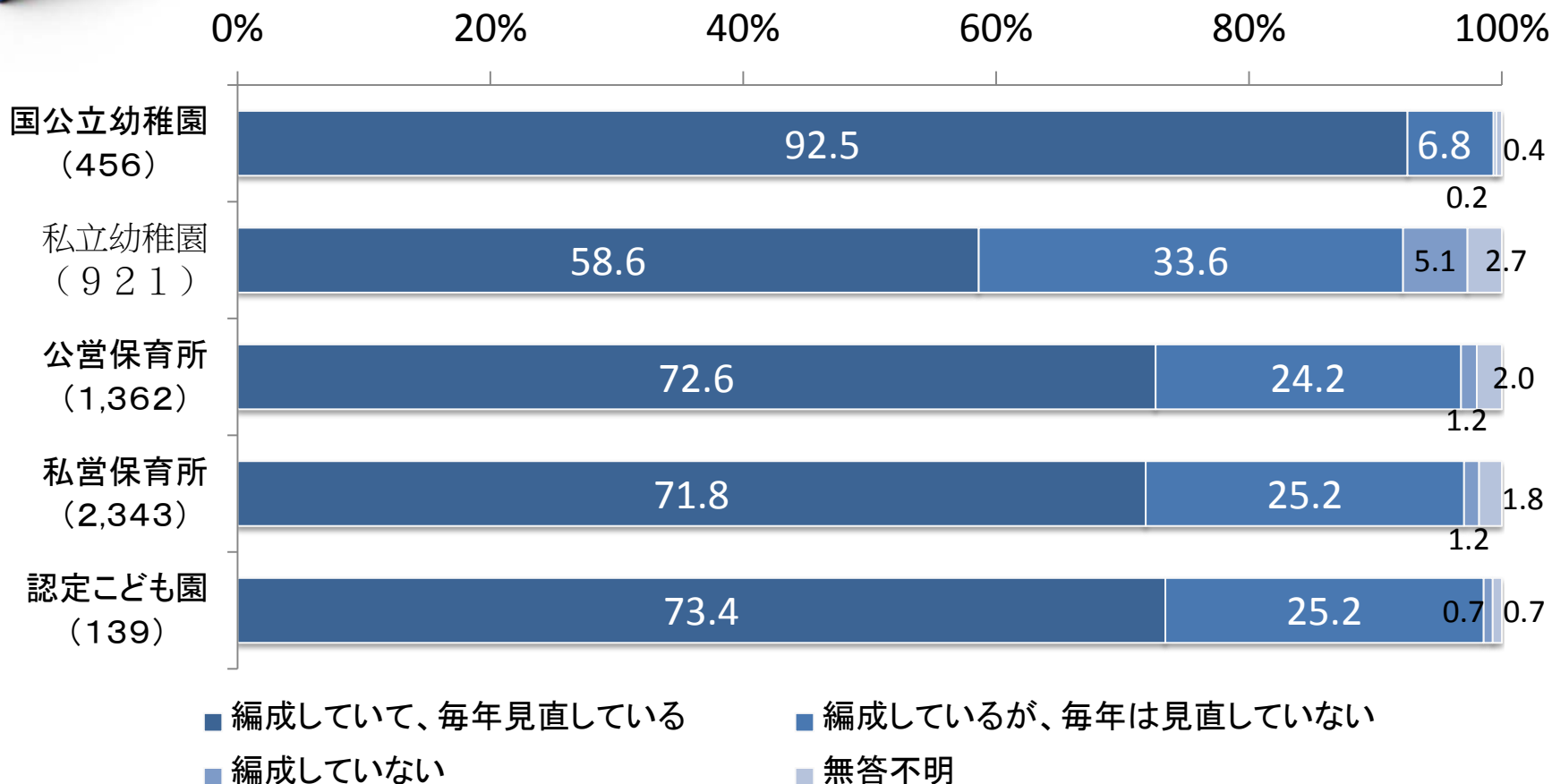
Q.貴園には、次にあげる環境や設備はありますか。(あてはまるものすべてに○)



「園庭」「砂場」「鍵盤楽器」「すべり台」「花壇や畑」などは、90%以上の園に設置されている。また、幼稚園と保育所の差も小さい。



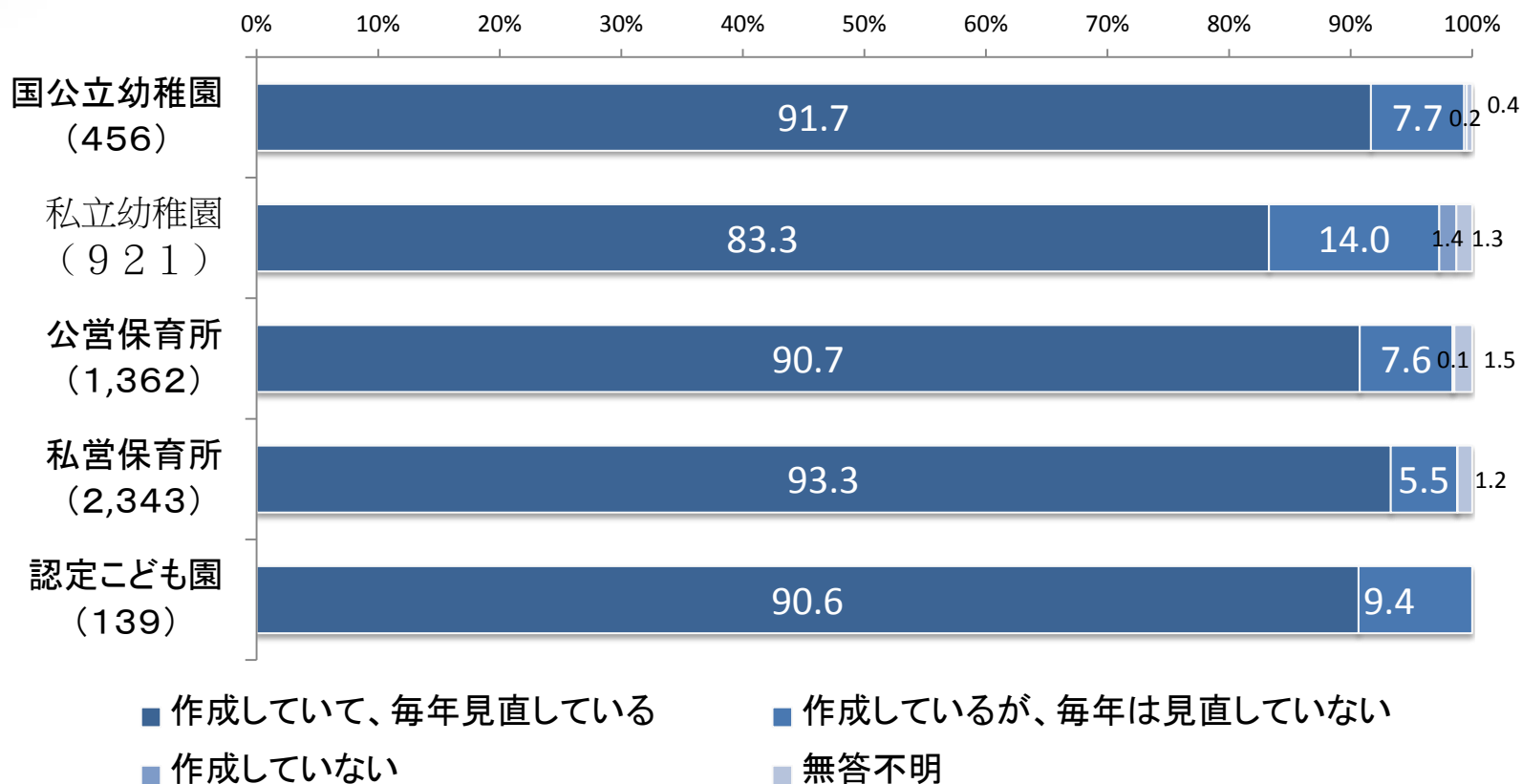
教育課程・保育課程の編成



ほとんどの園が指導計画、保育計画を編成している。
毎年見直しをしているかどうかという点で違いが出ている。



指導計画の作成

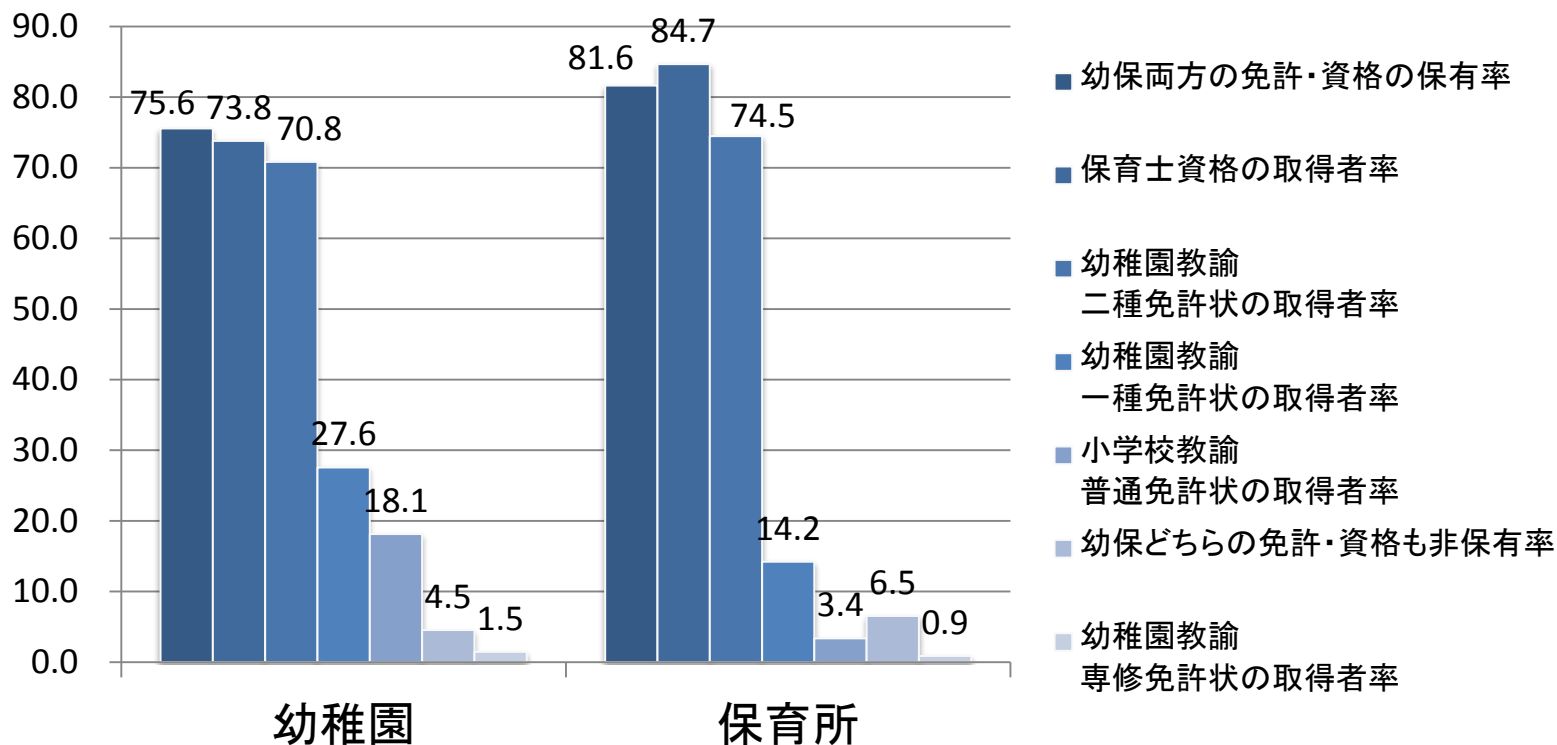


ほとんどの園が指導計画を作成し、毎年見直しを行っている。



保育者の免許・資格保有状況

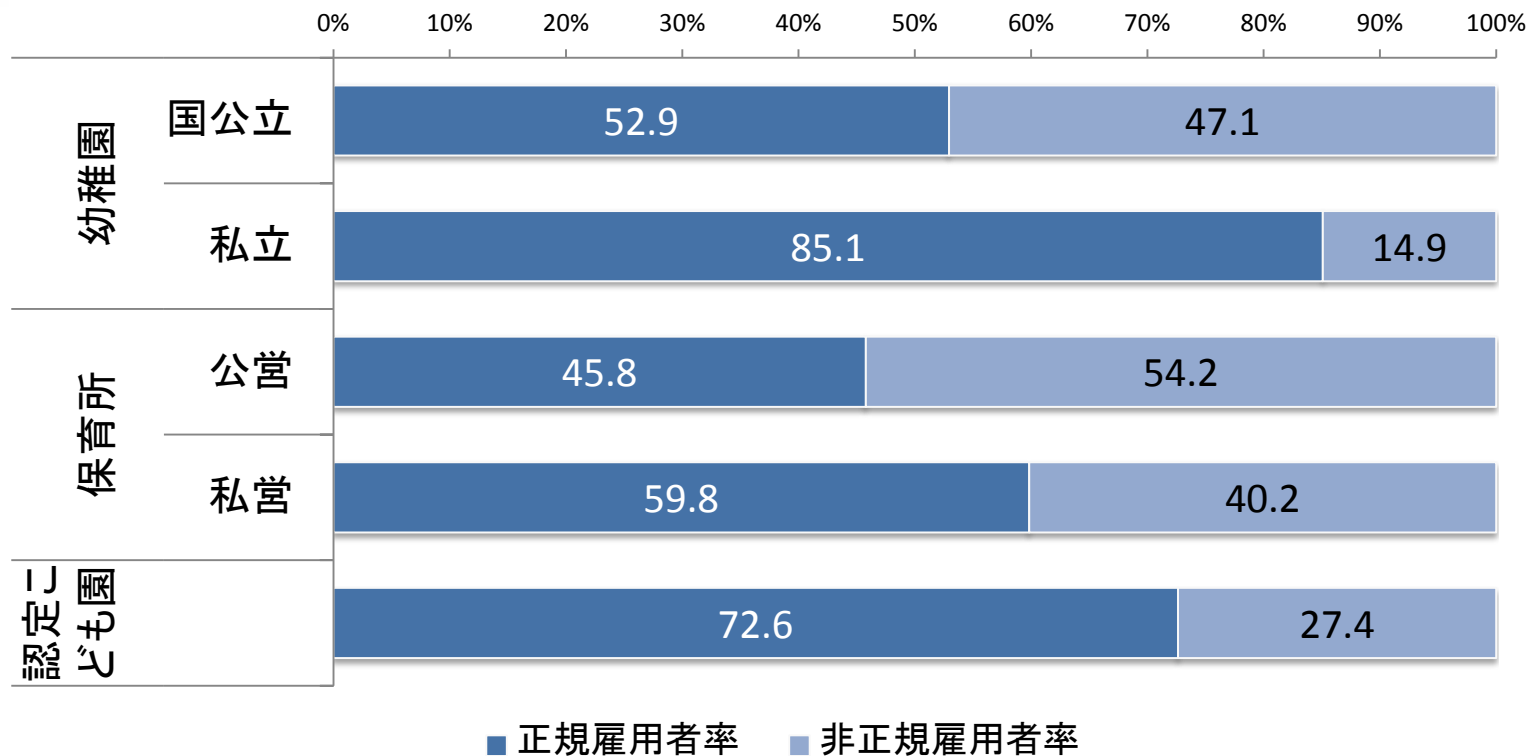
Q.貴園の保育者について、次にあげる免許・資格の保有者数をおたずねします。



幼保両方の免許・資格を保有している人は、幼稚園75.6%、保育所81.6%で、保育所のほうがやや多い。



保育者の雇用形態

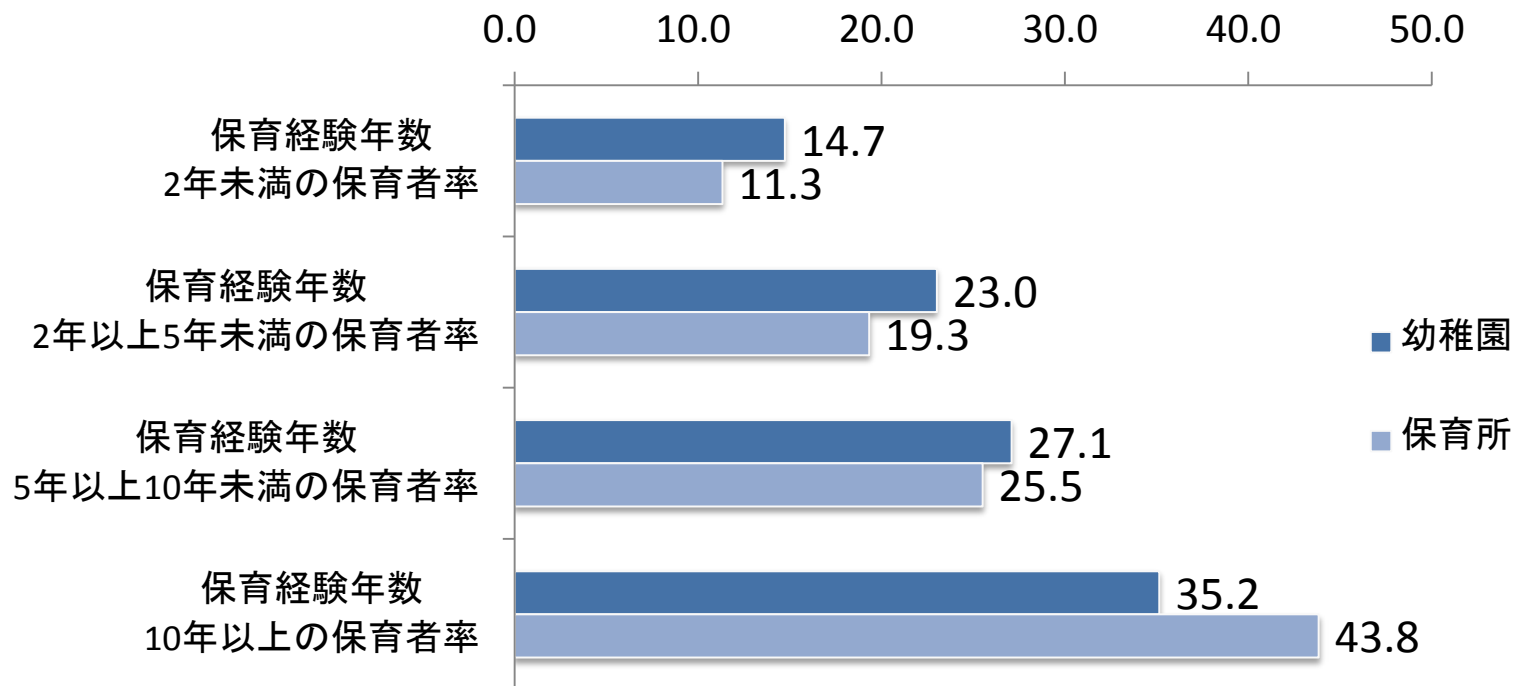


非正規雇用の保育者は公営保育所、54.2%、国公立幼稚園47.1%で、公立のほうが多い。市区町村の財政の厳しさから、正規雇用の採用を絞っているためと考えられる。



保育者の経験年数

Q.保育者としての経験年数別の内訳人数をお尋ねします。(％で集計)

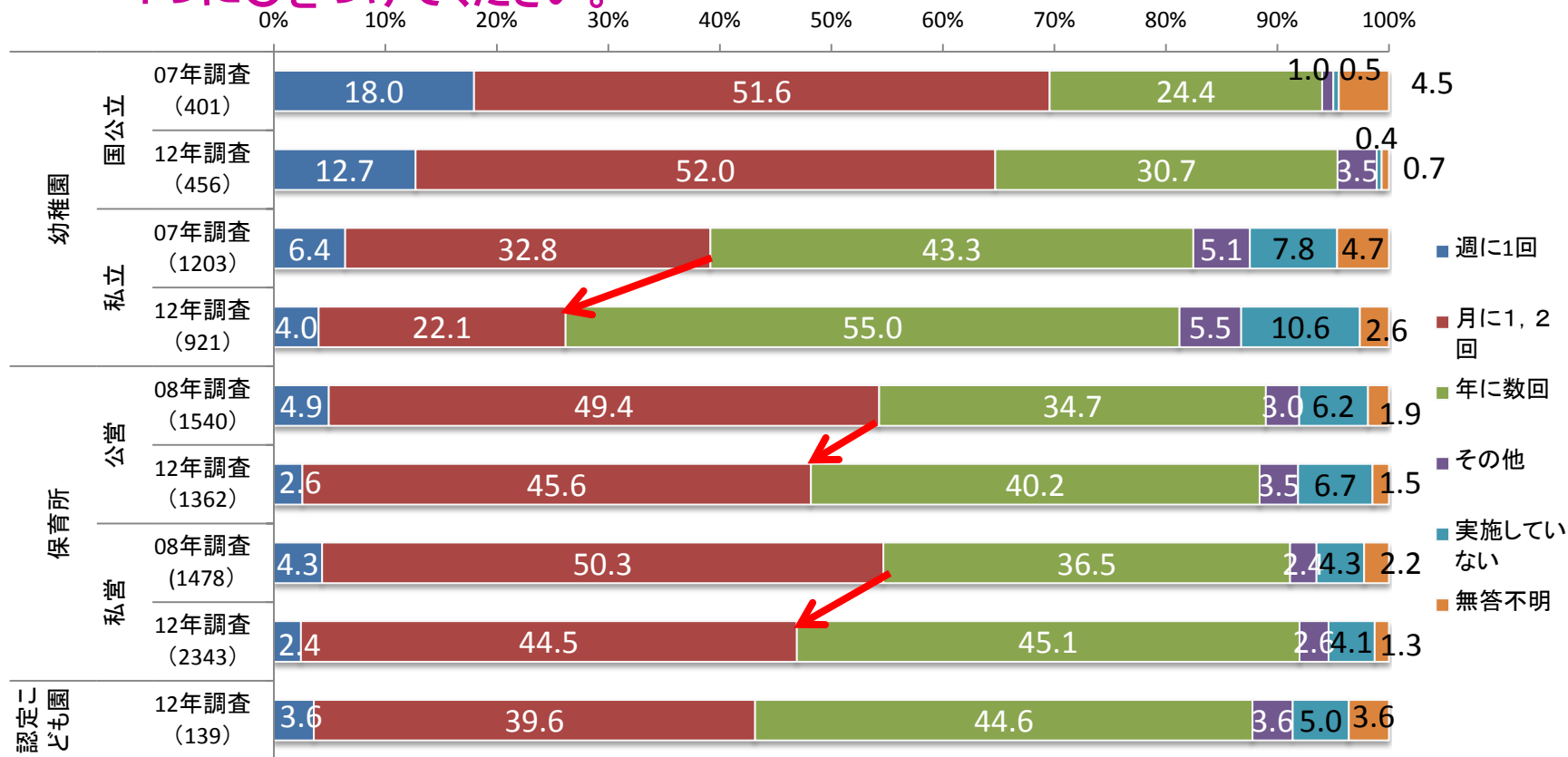


幼稚園と保育所を比較すると、幼稚園では経験年数2年未満、2年以上5年未満の保育者の割合が多く、保育所では10年以上の保育者が多い。



園内研修の実施頻度

Q.園内研修(自園で主催する研修)を実施する頻度について、最も近い番号1つに○をつけてください。



第1回調査と比較したときに、月に1、2回の実施率が下がり、年に数回が増えている。

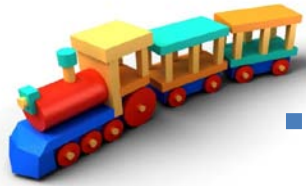


園運営上の課題

Q.貴園の保育実践上、運営上の課題について、もっとも重要な課題だと思ふものについて、その番号を選んでください。

		1位	2位	3位	4位	5位
全体 (5221)		保育者の資質の維持、向上 21.8	保育者の確保 13.4	施設・設備の充実 7.5	予算(補助金、保育料など)の確保 7.3	新たな園児の獲得 7.1
幼稚園	国公立 (456)	保育者の資質の維持、向上 23.0	施設・設備の充実 7.7	新たな園児の獲得 7.5	保育者の確保 6.8 安全、防犯の取り組み 6.8	障害のある子ども・特別に支援を要する子どもの対応 5.5 園の統廃合 5.5
	私立 (921)	新たな園児の獲得 19.8	保育者の資質の維持、向上 18.1	予算(補助金、保育料など)の確保 11.3	施設・設備の充実 8.3	保育者の確保 6.8
保育所	公営 (1,362)	保育者の資質の維持、向上 23.1	保育者の確保 15.2	園の統廃合 7.5	施設・設備の充実 6.5	障害のある子ども・特別に支援を要する子どもの対応 3.9
	私営 (2,343)	保育者の資質の維持、向上 22.1	保育者の確保 16.6	予算(補助金、保育料など)の確保 9.3	施設・設備の充実 7.8	新たな園児の獲得 4.8
認定こども園 (139)		保育者の資質の維持、向上 23.0	予算(補助金、保育料など)の確保 12.2	保育者の確保 7.9	施設・設備の充実 5.8	新たな園児の獲得 4.3 障害のある子ども・特別に支援を要する子どもの対応 4.3 安全、防犯の取り組み 4.3

注:園運営上の課題を尋ねた22項目のうち、もっとも重要な課題として1つ選択。



保育者の資質向上のために必要なこと

Q.貴園の保育者の資質が向上するために必要だと思うことについて、
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

＜養成課程に関すること＞

1. 養成課程の教育内容の充実
2. 養成課程の年限の延長
3. 養成課程における実習指導の充実
4. 養成課程における実習の日数増加

＜労働条件などに関すること＞

5. 保育者の給与面での待遇改善
6. 職員配置基準の改善
7. 非正規雇用保育者の正規化
8. 保育者が育児休業をとるための園に対する給付の充実

＜免許・資格に関すること＞

9. 幼稚園教員免許・保育士資格の併有促進
10. 幼稚園教員免許・保育士資格の一本化
11. 幼稚園教員免許・保育士資格の上級免許の創設
12. 保育士の資格更新制度の導入

＜研修に関すること＞

13. 園内研修を実施する機会の保障
(代替保育者確保のための人件費の充実など)

14. 園外研修に参加する機会の保障
(代替保育者確保のための人件費の充実など)
15. 園内研修の内容の充実
16. 園外研修の内容の充実
17. 園内研修に対する講師の派遣
18. 幼稚園教員と同等の研修を保育士が受ける権利の保障
19. 保育者の経験年数に応じた年次研修を受ける権利の保障
20. 研修に参加することで認定資格などをもらえる仕組み
21. 小学校や中学校などとの合同研修
22. 他の幼稚園・保育所との合同研修
23. 長期研修制度
24. 公開保育や研究発表会など、保育を見合う機会

＜園長、保育者に関すること＞

25. 管理職の指導力の向上
26. 保育者のメンタル面のサポート
27. 保育者同士が学び合う園の風土づくり
28. その他(具体的に:)



保育者の資質向上のために必要なこと

前頁の28項目から選択率の高いもの上位5位を表示

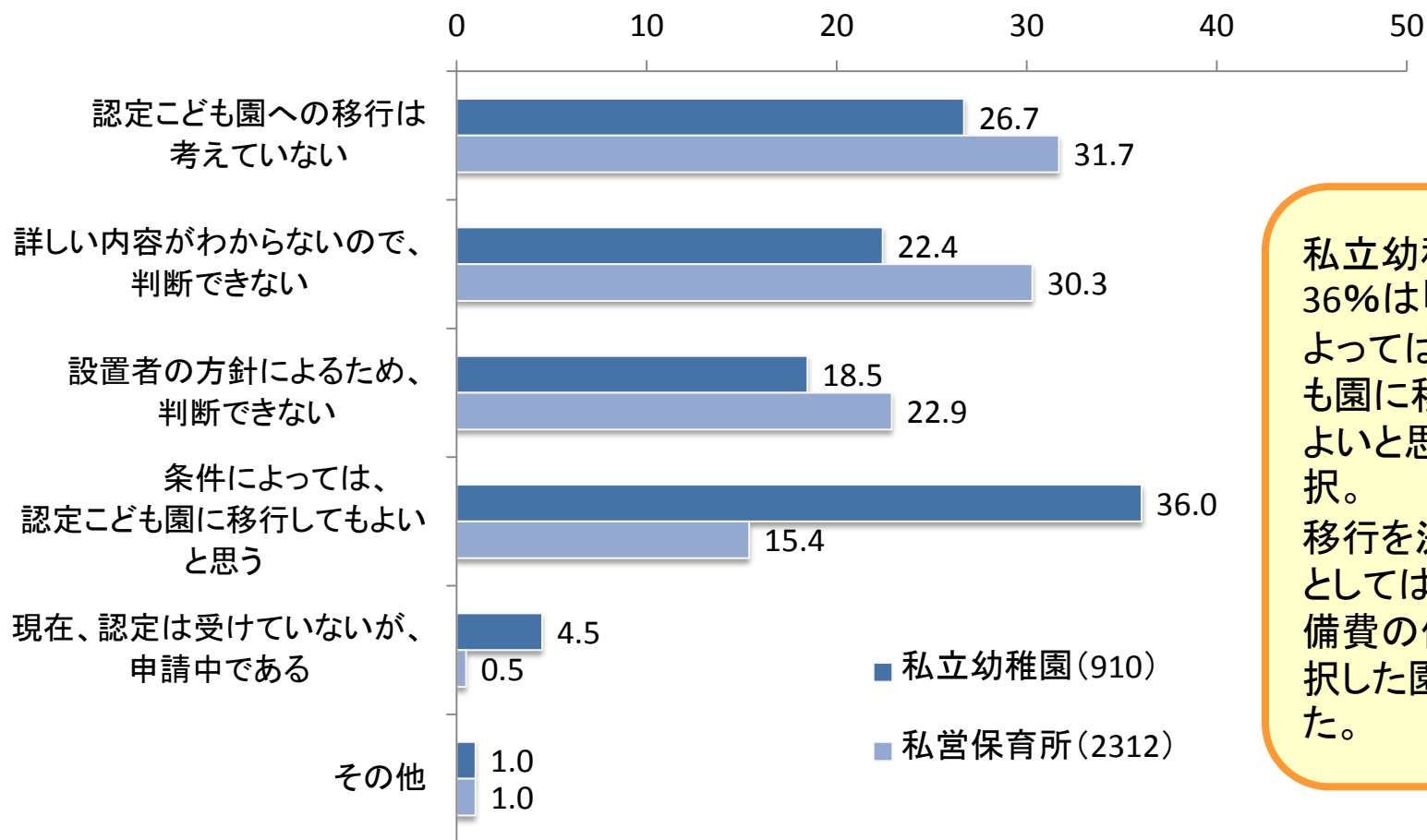
	1位	2位	3位	4位	5位
国公立幼稚園	養成課程の教育内容の充実	非正規雇用保育者の正規化	保育者同士が学び合う園の風土づくり	園内研修の内容の充実	管理職の指導力の向上
	66.9	64.7	64.0	60.5	60.1
私立幼稚園	保育者の給与面での待遇改善	養成課程の教育内容の充実	保育者同士が学び合う園の風土づくり	管理職の指導力の向上	園内研修の内容の充実
	77.2	68.6	60.6	56.0	55.3
公営保育所	職員配置基準の改善	非正規雇用保育者の正規化	養成課程の教育内容の充実	管理職の指導力の向上	保育者同士が学び合う園の風土づくり
	72.6	67.7	62.1	61.2	59.5
私営保育所	保育者の給与面での待遇改善	養成課程の教育内容の充実	職員配置基準の改善	保育者同士が学び合う園の風土づくり	管理職の指導力の向上
	83.4	67.2	65.3	63.3	60.1
認定こども園	保育者の給与面での待遇改善	養成課程の教育内容の充実	保育者同士が学び合う園の風土づくり	園外研修に参加する機会の保障	管理職の指導力の向上
	77.7	69.1	65.5	59.7	59.0

私立幼稚園、私営保育所、認定こども園では「保育者の給与面での待遇改善」が、公立保育所では「職員配置基準の改善」が1位にあげられている。国公立幼稚園で1位の「養成課程の教育内容の充実」は私立幼稚園、私営保育所、認定こども園でも第2位にあげられている



認定こども園への移行 (私立幼稚園、私営保育所)

Q.(認定こども園について)貴園の現況あるいは今後の対応について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



私立幼稚園の36%は「条件によっては認定こども園に移行してもよいと思う」を選択。移行を決める条件としては、「施設整備費の保障」を選択した園が多かった。